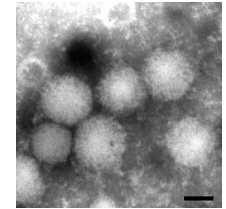


エゾウイルス感染症について

- 新規ウイルスであるエゾウイルス (Yezo virus : YEZV) を報告 (IASR Vol.41, No.1, 2020)
- マダニ媒介性ウイルス疾患
- 発熱、血小板減少、白血球減少、筋肉痛などを呈する
- 7名の感染者 (死亡例無し) (2021年9月末時点)
- すべて北海道において感染したと推定
- 道内に生息するマダニ、エゾシカ等の野生動物に感染
⇒ 道内に定着している可能性
- 特異的な治療法やワクチンはない
⇒ 他のダニ媒介性感染症と同様に、ダニに刺されない対策が重要
- 詳細は「北海道におけるエゾウイルス熱を発見」で検索



北海道立衛生研究所で検査可能なダニ媒介性感染症について

疾患名	分類	主な症状	疫学	備考
ライム病	ボレリア属細菌	発熱、遊走性紅斑、 筋肉痛、関節痛	道内で多くの患者発生	
新興回帰熱		発熱、頭痛、 筋肉痛、関節痛	道内で多くの患者発生	
ダニ媒介脳炎 (TBE)	ウイルス	発熱、脳炎、髄膜炎	道内でのみの患者報告	5名の患者 (うち2名死亡)
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)		発熱、 血小板減少、白血球減少	道内では未報告 西日本で多くの患者発生	致死率約20%
エゾウイルス感染症		発熱、 血小板減少、白血球減少	道内でのみの患者報告	症状はSFTSと類似 死亡者なし

感染者報告地域について

感染者が報告された地域を示すものであって、
マダニ刺咬を受けた地域を示唆するものではありません

稚内保健所管内
70歳代女性（2017）

帯広保健所管内
20歳代男性（2016）

札幌市保健所管内
40歳代男性（2019）
50歳代男性（2020）

倶知安保健所管内
80歳代男性（2020）

釧路保健所管内
60歳代女性（2014）
30歳代男性（2017）

